

令和4年シラス曳網調査結果 No.8

令和4年9月9日
福島県水産海洋研究センター

【鵜ノ尾埼海域】

1 調査方法

- ・9月7日に概要をお知らせした調査船拓水による相馬海域(鵜ノ尾埼定線)のカタクチイワシシラス調査結果(9月5日実施)の詳細をお知らせします。
- ・調査点は37-48N線上の、141-00E(水深13m)、141-05E(水深34m)、141-10E(水深39m)、141-15E(水深50m)、141-20E(水深86m)の5点です。
- ・表面水温は22.2°C~23.8°Cでした(図1)。
- ・中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)で水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。(2kt)

2 結果

- ・シラスの採捕数は1定点あたり8~145尾でした(図1)。
8月のシラス採捕数は16~432尾であり、8月と9月の灘側4点の合計採捕数は8月(862尾)よりも588尾減少しました。
- ・シラス採捕数について過去の9月における調査結果は図2のとおりです。
- ・全長は5.4~25.5mmであり、10mm前後の群を中心に構成されていました(図3)。
141-00E、141-05Eでは15mm前後にモードがあり、その他の地点では10mm前後にモードがありました。

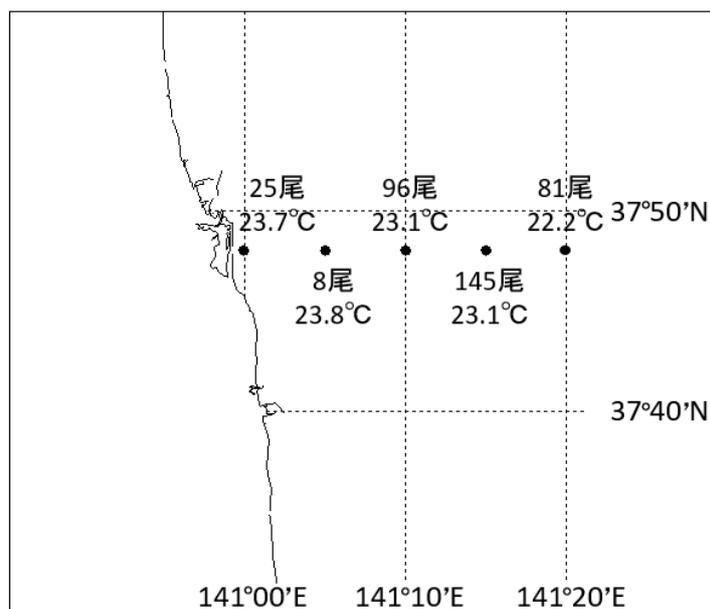


図1 カタクチイワシシラス採捕数

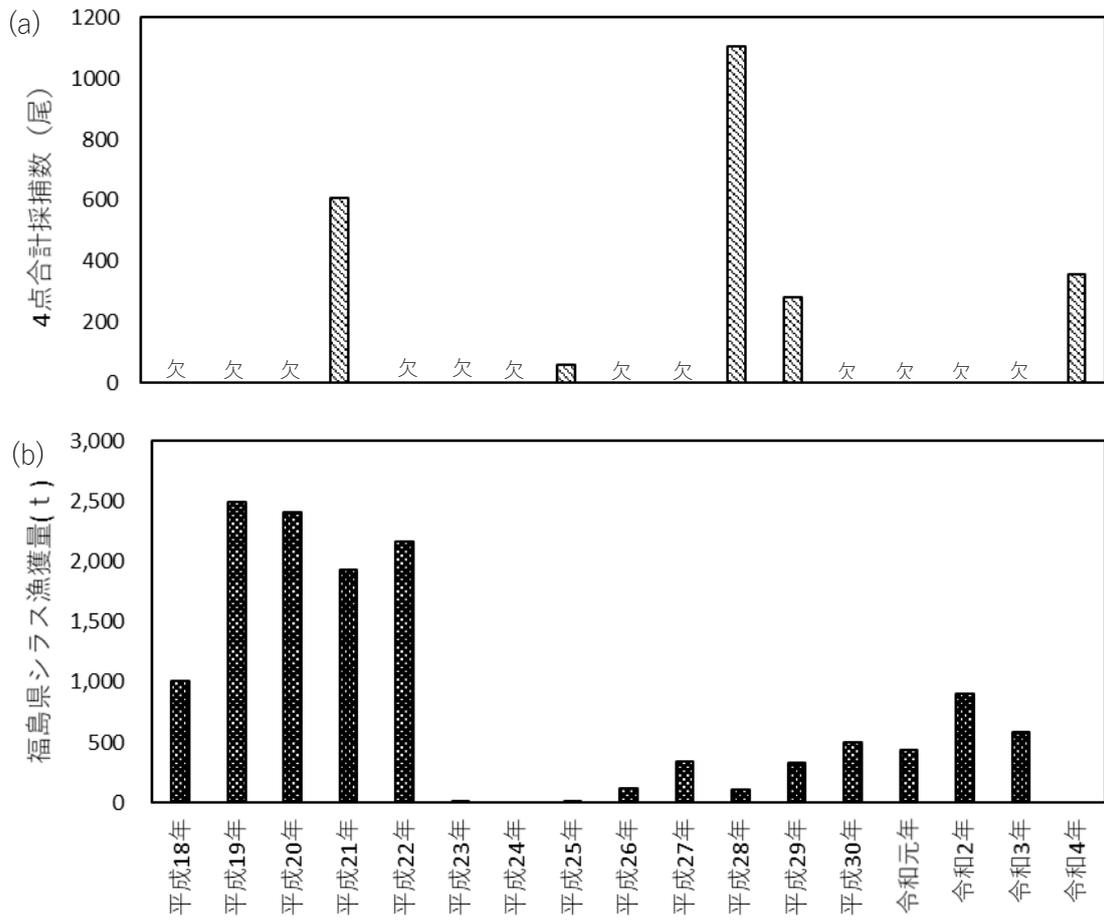


図2 (a)鵜ノ尾埼定線における9月の合計採捕数、(b)福島県の年別シラス漁獲量

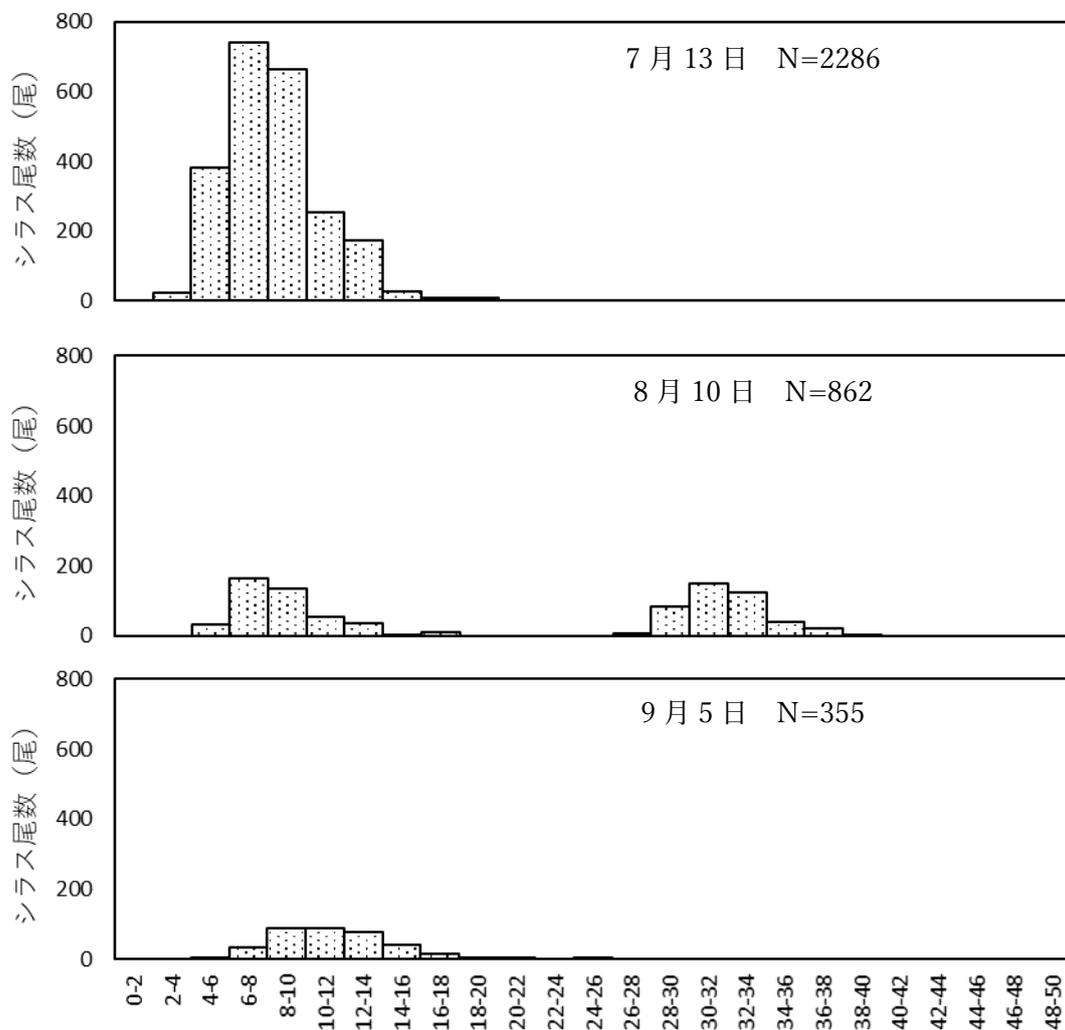


図3 調査月別シラスの全長組成

福島県水産海洋研究センターホームページにおいても調査結果を掲載しています。

検索サイトにて「福島県 シラス調査」で検索すると見つかります。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>